

# 生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

(☎ 四四一四八二六)



## 一絃琴の流れ

高齢者生きがい創造学園  
講座「郷土を歩く」講師

深川 隆正

「郷土を歩く」の土居めぐりを担当して早五年目ですが、出身地の四国中央市に伝わる一絃琴に付いて少し説明します。

一絃琴は、遠く平安時代に在原行平が須磨に流された時、浜辺に打ち寄せた一枚の船板に冠の紐を張り、自らを慰めるために作ったのが始まりと言われています。

真鍋豊平は、江戸時代文化六年関川村上野、千足神社の神官の家に生まれ、二十一才の時、神社を訪れた旅の絵師杉隅南が弾く一絃琴の調べに魅せられ、教えを請い十日余の滞在中に今様と須磨の二曲を習得し絵師に音楽の天才と賞讃されました。

豊平は練習を重ね奏法と共に作詞、作曲も身につけ九州、中国地方を巡り、京都や伊勢を歴遊し一絃琴の普及に努めました。

三十九才で京都に家を構え、正親町中納言から一絃琴取締役を命じられ総元締めとなり公家にも出入り隆盛を誇りました。

最盛期には門人二千名と言われ、京都では土佐藩士の門田宇平にも教えたため、土佐藩にも普及し多数の門弟が育ちました。

歌は万葉集、古今集等を詠んだ文学的作品が多く、自ら五十五曲を作曲し中でも土佐の海、須磨の昔、伊勢の海等が有名です。一絃琴の普及と数々の功績を残し、明治三十二年九十一才で長寿を全うしました。

残念ながら江戸から明治への急激な時代の変化の波に一絃琴は隆盛を失いました。関川では河端先生が三十年前に京都で一絃琴を習い、教室を開き普及に努め真鍋豊平一絃琴保存会を発足させました。

一絃琴は無形文化財の指定を受け、保存会が組織化され会員二百余名、奏者も二十名を越え、四年前の「真鍋豊平生誕二百年記念一絃琴定期演奏会」には高知の白鷺会も賛助出演し、合同演奏では一絃琴の幽玄な調べに満員の聴衆は酔い痴れました。

昨年の一絃琴定期演奏会には男性も増え、日頃の練習成果が発揮され盛会でした。関川小学校では豊平の意志を引き継ぎ、生徒達は一絃琴の練習に励んでいます。

「梅が技に歌う小琴に通ひ来て調べあわせる軒の鶯」豊平

9月	6金	5木	4水	3火	2月	日曜	
コーラス教室 ラージボール卓球教室	弥生(生花) メヌエット(ピアノ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) ハッピー(ダンス)	茶道教室 桃山D(卓球)	書龍(書道) サンシャイン(写真) フレッシュ2009 別子GG(ゴルフ) 桃山A(陶芸)	男の料理教室 ピアノ教室 書心(書道) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) 亀池A(陶芸)	絵手紙教室 書硯(書道) ドルチェ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	グラウンドゴルフ教室 墨友(書道) 山茶花(俳句) いとこのこ(組み木) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス)	午前 午後
墨友(書道) いずみ(短歌)	桃山A(卓球) なごみ(茶道) 山雄会(カラオケ)		ミニッツ(ハーモニカ) シヨパン(ピアノ) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	高齢者会賢く生きる 亀池B(陶芸)	ウッド(組み木) 桃山B(卓球)		

### 平成25年度 購入図書一覧

代表者の会には貴重な財産です。大きな活用に充てたいと思います。



図書(DVD)名	著者名、編集者名	出版社名、発行所名
小池邦夫の人を振り向かせる絵手紙	小池邦夫	清流出版(株)
写真用語の基礎知識	高城有道	(株)日本カメラ社
湖山先生の教え(DVD4巻)	東京書道教育会	東京書道教育会
今さら聞けない短歌のツボ100	三枝昂之	(株)角川学芸出版
誓子-我がこころの帆	戸恒東人	本阿弥書店
化粧と施釉の大原則	野田耕一	誠文堂新光社
疑問に答える逆引陶芸技法	陶工防編集部	誠文堂新光社
新・類題別 番傘一万句集	番傘川柳本社	(株)創元社
組木の登り人形	小黒 三郎	(株)大月書店
ピアノスタイル発表会で役に立つ! はじめてのクラシック名曲50選(CD2枚付)	古森優 小早川美穂子	(株)リットーミュージック

### 代表者・講師研修旅行のご案内

代表者会 総務委員長 藤田 哲夫

皆様ご存知のように当学園には広報委員会、体育委員会、図書委員会、総務委員会があつてそれぞれ活発な活動を展開しています。

今回は総務委員会の主要な取組みである代表者・講師合同の研修旅行についてご案内いたします。

#### ① 旅行目的

●希望の名所を訪れることによって更なる見聞と参加者との交流を深めリラックスタイム・レクレーションタイムをとり、ますますの日常活動意欲を高める糧とする。

●代表者・講師が体験を共にして共同時間を送ることによって互いの信頼関係や人間関係を深める。

#### ② 平成二十五年旅行日及び行先

●十月五日(土)

●備中路(高梁市内・紺屋川・頼久寺・石火矢町ふるさと村・吹矢ふるさと村)

#### ③ 総務委員会からお願い

●多数のご参加を是非お願い申し上げます。新たな発見を求めて一緒に。

日	曜日	午前	午後
9	月	書楽(書道) あすなる(俳句) さくら(茶道) ウツド(組み木) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス)	百描会(美術) いとこのこ(組み木) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸) 墨友(書道) いずみ
10	火	短歌みらい 絵手紙なでしこ みどり(茶道) エリーゼ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	高齢社会を賢く生きる 絵手紙はなみずき 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)
11	水	書道教室 ソナタ(ピアノ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) 亀池A(陶芸)	短歌教室 コンテニュー(ハーモニカ) ピアノ10(ピアノ) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)
12	木	写真教室 四季の組み木教室 書峰(書道) 街道をゆく 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球)	ひろせ(コーラス) のこのこ(組み木)
13	金	趣味の料理教室 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)
17	火	家庭菜園教室 絵手紙教室 書硯(書道)	やながわ(川柳) 桃山A(卓球)

# ふれあい第二の人生を楽しく

(講座 郷土を歩く)

四十年余の会社生活を定年退職。無事勤め上げた事への感謝の気持ちの一端から自治会のボランティア活動に参加。公民館で学園の存在を知り「郷土を歩く」を受講。

五月十六日受講生四十三名、学園で説明を受け山本和一先生の案内で中萩方面を歩く。講座担当の三浦氏と白石看護師がフォローしてくれる。昼は北の坊阿弥陀寺の本堂で持参の弁当を広げる。ガラス戸を開け放し吹き込む冷風が火照った身体に心地好い。皆さん殆ど初対面と思われるが和気藹々。

第二回は生憎の雨で中止。

第三回七月十八日西条・飯岡めぐり。講師加藤彪先生。飯岡原八幡神社集合。秋都庵、王至森寺等をめぐり、飯積神社で昼食後稲積神社を経て原八幡神社へ帰る。暑い一日となるが、畦道沿い一面の青田が風にそよぎ、女性陣の笑い声が響き全員無事完歩。

二度の受講で、藤田代表者のもと受講生の皆さんに連帯感が生じてきたように思われる。次回以降の受講が楽しみである。六十年有余の生涯「知らなかった」事の多さを痛感する次第。

十一月七日「秋の別子を訪ねて」の頃にはコスモスも満開で、文字通り最後の受講に花を添えてくれるであろう。

受講生の皆さん、年末には藤田代表者に幹事をお願いして忘年会をやりましょう。

(泉川 古川 保生)



講師の説明を熱心に聞く「郷土を歩く」の皆さん

(西条市飯岡 王至森寺にて)

24	20	19	18	17	日曜
火	金	木	水	火	
ねこやなぎ(川柳) みどり(茶道) エリーゼ(ピアノ) 絵手紙うさぎ 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	茶道教室 メヌエット(ピアノ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) ハッピー(ダンス)	郷土を歩く 書龍(書道) ウォークひうち げんき2012 絆 やまびこ 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球)	ピアノ教室 書心(書道) そよかぜ(俳句) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	ドルチェ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	午前
	桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)	なごみ(茶道) 山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)	陶芸教室 シヨパン(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ) 桃山B(卓球)		午後



### 季節を生ける

(生花サークル 弥生)

生花は、自然と共に生きてきた人々の、美意識の願望の延長でいかに私達の生活に調合させ生かせるかの表れだと思います。

私、嵯峨御流で十年を経て感じることは、初めの頃は先生の手なおしが多くあったことを思い出します。

今では趣味と癒しと、花材を生ける活動も励みになっていて、家に帰っても居間、玄関に一輪と広がって折々の四季の役割を果たしてくれています。

月一回の教室の当日は、花材の生気と共に皆さんとああやこうやと笑いも絶えず生きがいの基本となっています。私は、活動を通じて感じることは、人、個々の持っている感性を尊重して幅広く、今の雰囲気の状態を続けていきたいと思っています。

これから先の自分には、うつわとか、花態などむつかしいことなど、多少不安もありますが、自然と花との調和を計りながら美感覚を高めていきたいと思っています。

(中萩 伊藤 滋子)



生花サークル「弥生」の皆さん

生け花サークル「弥生」

2014.03.01 13:21

### 次はどんな「!!」「?」が

(サークル 街道をゆく)

東洋のマチュピチュを出発しマイントピアまでガイドさんの案内でゆつくり歩く。明治から昭和の時代をこの場所で暮らした人達の生活の跡を辿り、産業遺産を巡る。別子銅山の歴史に思いを魅かれる私には、意義深い半日になりました。

そう、今日はサークル「街道をゆく」の例会でした。

会員のアンケートで決定され、訪ねる場所は様々ですが、毎回ガイドさんの説明があります。説明を受けて、勝手に見た気分、知っているつもりになっていた場所が急に驚きや新発見の場所に変わります。

「何でなんで!!」「誰が?」「どなになつとん?」等々好奇心と感動丸出しで、歓声と黙考の時間が流れます。ガイドさんと段取りをしてくれる役員さんに感謝です。

年の所為にはいけません、細かい文字、長い文章を読む、地図を見る等が面倒になり、思考力も使わず、あなた任せで能天気になるばかりの最近。

こんな私の好奇心・探究心を満たす物知りの人達や、感動を共有できる仲間と共に、頭や心を磨き、「歩きの会」らしく、深瀬と歩き、ちよつと元気で、格好い高老年を目指したいと思っています。

(中萩 青木 洋子)

### 短歌は未来に湧く泉

(サークル 短歌みらい)

子規曰く「リアリズムなきこの国は亡ぶ」と。漱石も思った。結果は1945・8・15でした。この流れが2011・3・11のおしなどと思っていたとき、突如、生きがい紙に原稿をと代表者に言われ固辞。多数決で負け「八方破れで書くけんもう」で書いています。

ボケない小唄(お座敷小唄の替え歌)に曰く。頭と足腰使う人、趣味のある人、色気のある人、ボケません……。

学園は、生きがいを作っておますなあ。短歌サークルも二つできました。「短歌みらい」は13年目に入り、136回を迎えます。それは講師の吉田みのる先生が、二癖三癖の海千山千を相手に、笑いに満ちた酷評の楽しさに尽きます。

この的を得た的確な批評により、いつの間にか、創った自慢の歌は、自作とは思えない傑作になっていく。だから楽しいのです。

先生曰く。「歌は人生そのもの」「歌は人生を深く味わうために作る」

万葉集発見の子規以来の歌人が目の前にいる幸せ。入会を遠慮している方、入れれば元気が出ますよ。

(泉川 鴨田 光弘)

### 学園歌壇

サークル「短歌みらい」

風そよぐ五百羅漢の山路ゆき愁える心は緑に染まる  
坂田 純子  
風呂上がりりにリズム体操ストレッチ皆自己流に  
三好寿恵子  
て十年つづく  
絶え間なく喋り続ける三人の女性のあとを追う  
散歩道  
瀬崎 貞三

サークル「いずみ」

西の窓和室の障子が紅く染む窓一杯に夕焼雲が  
谷永 順子  
夫の留守自由気ままの魅力褪せ指を折りつつ帰  
る日待つ  
小森 登美  
シヨッキング ピンクの傘さし遊歩道燕がすい  
つと吾を追い越す  
藤田 育子

### 学園柳壇

サークル「やながわ」

荒波に転がり石も丸くなる  
酒井 孝寿  
古希過ぎて心の鎧ほつれ出す  
竹内 信夫  
顔色で何か来そうだ身構える  
村上 省二

サークル「ねこやなぎ」

アラフオーの私に欲しい赤い糸  
伊藤 純子  
つまずいて初めて気づく愛の鞭  
浮川 良美  
幾山河越えた夫婦に味がある  
岡田 文子  
宇宙皆三角四角丸世界  
井原みつ子

講師 井原みつ子

### 学園俳壇

サークル「そよかせ」

つちふるやリヤカー曳きて魚売り  
高橋いたる  
墨の香に包まる余生竹の秋  
横山 正和  
新樹影頬に映して眠る稚児  
吉田 清美

サークル「あすなる」

髪カット似合ふ少女の夏涼し  
岡 静子  
オカリナを奏ぶ少女や風涼し  
真田 靖枝  
夏座敷宗匠の軸床の間に  
浜田美智子

サークル「山茶花」

開かずの間土用の風を通しけり  
森 フサエ  
濃紫陽花おのれの色を出しつくし  
神野 信美  
板の門に枕一つの熱帯夜  
近藤 静  
倒木に梅雨茸の生ふけもの道  
登山者のリュックとぶつかる駅の階  
原爆忌水掛不動すぐ乾く  
講師 阪上 史琅

### ご恵贈お礼

◎ロビー生け花 八月度 様 (講師)  
◎川柳にいはま 八月号 様  
◎川柳にいはま 八月号 様  
◎川柳にいはま 八月号 様

### 今月のロビー展

(九月一日〜九月三十日)

書硯(書道)  
書楽(書道)  
書龍(書道)  
\*十月の予定

絵手紙うさぎ(絵手紙)  
絵手紙はなみずき(絵手紙)  
絵手紙なでしこ(絵手紙)